

H07

* 2011年11月改訂 (第6版)
* 2009年10月改訂

漢方製剤

日本標準商品分類番号	
875200	
承認番号	(61AM)第4157号
薬価収載	1986年10月
販売開始	1986年10月

貯法：気密容器、室温保存
(「取扱い上の注意」の項参照)
使用期限：容器、外箱に表示

* 劇薬 **本草 八味丸料エキス顆粒-M**
(500g パラ包装のみ劇薬)

◇組成・性状

販売名	本草八味丸料エキス顆粒-M	
組成	本品7.5g中 (3包中) 日局ジ オ ウ…5.0g 日局ボタンピ…3.0g 日局サンシュユ…3.0g 日局ケ イ ヒ…1.0g 日局サンヤク…3.0g 日局ブクリョウ…3.0g 日局タクシャ…3.0g 日局ブ シ 末…1.0g より製した水製乾燥エキス4.4gを含有する。	
	添加物	乳糖水和物、結晶セルロース、メタケイ酸アルミン酸マグネシウム、ステアリン酸マグネシウム
性状	剤形	顆粒剤
	色	淡かっ色
	におい	特異なにおい
	味	初めやや甘く後にわずかに苦い
	識別コード	H07

◇効能・効果

疲れやすく、四肢が冷えやすく、尿量減少または多尿で、ときに口渴がある次の諸症：

下肢痛、腰痛、しびれ、老人のかすみ目、かゆみ、排尿困難、頻尿、むくみ。

◇用法・用量

通常成人は1日7.5gを3回に分割し食前又は食間に経口投与する。

なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

◇使用上の注意

(1)慎重投与 (次の患者には慎重に投与すること)

- 1) 体力の充実している患者 [副作用があらわれやすくなり、その症状が増強されるおそれがある。]
- 2) 暑がり、のぼせが強く、赤ら顔の患者 [心悸亢進、のぼせ、舌のしびれ、悪心等があらわれることがある。]
- 3) 著しく胃腸の虚弱な患者 [食欲不振、胃部不快感、悪心、嘔吐、腹痛、下痢、便秘等があらわれることがある。]
- 4) 食欲不振、悪心、嘔吐のある患者 [これらの症状が悪化するおそれがある。]

(2)重要な基本的注意

- 1) 本剤の使用にあたっては、患者の証 (体質・症状) を考慮して投与すること。なお、経過を十分に観察し、症状・所見の改善が認められない場合には、継続投与を避けること。
- 2) 他の漢方製剤等を併用する場合は、含有生薬の重複に注意すること。ブシを含む製剤との併用には、特に注意すること。

** (3)副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していないため、発現頻度は不明である。

	頻度不明
過敏症 ^{注1)}	発疹、発赤、痒痒等
肝臓	肝機能異常 (AST (GOT)、ALT (GPT)、T-Bil等の上昇)
消化器	食欲不振、胃部不快感、悪心、嘔吐、腹痛、下痢、便秘等
その他	心悸亢進、のぼせ、舌のしびれ等

注1)このような症状があらわれた場合には投与を中止すること。

(4)高齢者への投与

一般に高齢者では生理機能が低下しているので減量するなど注意すること。

(5)妊婦、産婦、授乳婦等への投与

妊婦又は妊娠している可能性のある婦人には投与しないことが望ましい。[本剤に含まれるボタンピにより流産の危険性があり、またブシ末の副作用があらわれやすくなる。]

(6)小児等への投与

小児等には慎重に投与すること。[本剤にはブシ末が含まれている。]

◇取扱い上の注意

本品の品質を保持するため、直射日光を避け、なるべく湿気の少ない涼しい所に保管し、開封後は湿気に注意して、フタを十分に閉める等、取扱いに注意すること。

◇包装

500g 2.5g×294包 2.5g×42包

◇文献請求先

本草製薬株式会社 学術部

〒468-0046 名古屋市天白区古川町125番地